

協議会等	姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
評価対象航路	坊勢航路

二次評価結果

○事業実施の適切性について、評価できる。

運航回数は運航計画を下回ったが、これは安全確保のための悪天候等を要因とした欠航によるものであり、コロナ禍においても徹底した船員の感染防止対策を実施し、定期運航を確保した。そして、島民の唯一の公共交通手段として離島航路の確保維持に努めた。

○目標と効果の達成状況について、評価できる。

旅客輸送量は、まん延防止等重点措置による移動自粛要請といった新型コロナウイルスの影響を受け、見込みを下回った。しかし、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に加え、バス事業者と連携した企画切符の販売や観光パンフレットの作成など交流人口の拡大に努め、前年度実績を上回った。収支について、収益が大きく増加しているが、旅客運賃収入の増加よりも令和4年10月の運賃値上げ前の回数券のまとめ買いによる影響が大きい。この影響を除くと、収益は減少となる。費用面では、燃料潤滑油費の高騰や人件費の増加により対前年度比増となったが、経済情勢や安全運航の維持・確保によるものである。他方、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底による効率的な運航に努め、経費削減努力を行った。

○令和5年度も新型コロナウイルス感染症の影響に加え、燃料価格高騰による厳しい状況が続くと思われる。分科会においては、引き続き感染拡大防止対策を徹底しつつ、効率的な運航に努めるとともに、関係者と連携して島の魅力の磨き上げや観光客の回復・増加に向けた取り組みを行うなど運航収益の増加を図り、利用者が安心して利用できる公共交通機関として、安定的な航路の確保維持に努められたい。

※兵庫県 まん延防止等重点措置実施期間

令和4年1月27日～令和4年3月21日